

【件 名】	白子川整備工事（その138）	【事務所名】	第四建設事務所	
【工事場所】	東京都練馬区大泉学園町二丁目地内から同区東大泉四丁目地内まで	【受注者名】	大豊建設株式会社	
【工 期】	令和5年10月30日から令和7年11月21日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 信江 勲	

【工事概要】
 本工事は水害から都民の命と暮らしを守るため、1時間50mmの降雨に対応する護岸を整備するものである。
 ・既製杭工（鋼管杭）Φ1,000mm、L=19.0m 18本、L=19.5m 77本
 ・地盤改良工、仮設工

【表彰理由】（※発注者側評価）
 当現場は、両岸に民家が近接して建ち並び非常に狭隘な現場であり、クレーンによる鋼管杭の吊り上げやブームの旋回に細心の注意が必要であった。
 受注者は、このような現場環境条件の中で、防音・飛散防止シートの設置や溶接時の遮光対策を行い、周辺民家への工事影響を最小限に抑えるよう努めた。
 また、鋼管杭打設時には杭の挙動（天端高さ、貫入深度、変位、傾斜）を自動計測し、計測データをリアルタイムに把握可能な、三次元モデルのインプラントナビによる高精度の品質管理等を講じ、鋼矢板圧入不能時は迅速な設備変更の手配を行う等不測の事態にも遅延なく的確に対応した。
 加えて、河川特性を踏まえた水位監視システムによる現場状況の把握、開口部の養生や資機材の分離等を確実に実施するとともに常に現場内を整理整頓していた。
 さらに、現場周辺の清掃や除雪などの地域貢献、一般通行用迂回路での交通誘導員の声掛けや防犯カメラの設置等、第三者への安全対策をきめ細かく実施したことを含め、工事全般において良好で他現場への模範となる施工であった。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点
 河川工事のため、日々、進捗状況を見極め、資機材片付けのタイミング、特に夏季における集中豪雨の察知及び作業中断の判断に苦労した。

◇ 特に工夫した点
 施工箇所と民家が近接するため、溶接光の遮光、資機材の飛散防止対策及び工事で発生する振動・騒音対策について工夫・努力した。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感
 一般通行用仮設通路開放等に地域住民が開放時間前から待機して写真・動画を撮影しながら通行し、感謝されたこと。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
 日々、工事の進捗が目に見え、工事の完成に向けて工事に携わっている発注者、受注者、協力会社が一丸となって施工し、完成後には地域住民にも感謝されるやりがいのある仕事です。




インプラントナビによる品質管理



鋼管杭建込状況



溶接光の遮光対策